日本共産党 和歌山市会議員
ひめだ高宏ニュース
NO.1396
'22.7.12

参議院選挙で6→4議席に

7月10日投開票の参議院選挙で日本共産党は、比例区で361万票、3議席と東京選挙区の1議席を合わせ4議席に後退。大門みきしさんを落としてしまいました。ご協力いただいたすべてのみなさんにお詫びとおれを申し上げます。ありがとうございました。

22.7.10投票 参院選 和歌山市の得票

比例区

有効投票 145,207
無効投票 4,924

注)小数点以下四捨五入で表示

自由民主党	43,800	(30.2%)
日本維新の会	28,787	(19.8)
公明党	25,007	(17.2)
日本共産党	11,808	(8.1)
立憲民主党	10,686	(7.4)
国民民主党	8,034	(5.5)
参政党	5,424	(3.7)
れいわ新選組	4,322	(3.0)
NHK党	4,077	(2.8)
社会民主党	1,605	(1.1)
幸福実現党	502	(0.4)
新党くにもり	478	(0.3)
ごぼうの党	411	(0.3)
日本第一党	141	(0.1)
維新政党・新風	131	(0.1)

選挙区

有効投票 140,593
無効投票 9,540

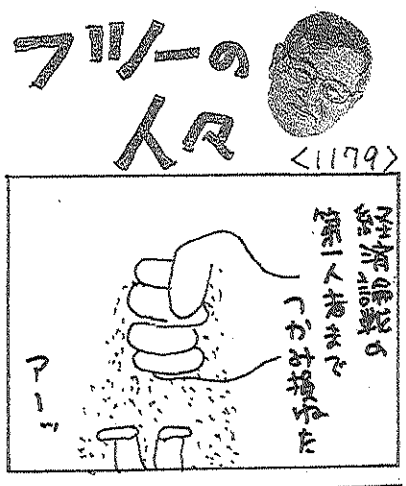
つるほ庸介	95,982
前 ひさし	22,572
加藤あっや	10,703
とおにしまなみ	6,888
谷口たかひろ	4,448

アベ元首相銃撃テロで死亡

7月8日、奈良市で演説中のアベ元首相が背後から銃撃され死亡しました。

日本共産党の志位委員長は同日、「言論を暴力で封殺することは、民主主義を破壊する最も憎むべき行為であり、強い憤りをもって断固糾弾します。とりわけ、選挙中という民主主義にとってきわめて重要な時期に、卑劣な蛮行が起きたことは、絶対に許すことのできないことです。日本共産党は、言論の自由を暴力で封殺する、あらゆるテロ行為を許さない社会をつくるために力をつくすものです。」と、私は安倍晋三氏とは、政治的立場を異にしておりましたが、同年に生まれ、当選も同期で、同時代を生きたものとして、そのご逝去は、とてもさみしく、悲しい思いです。重ねて深い哀悼の意を表するものです。」との談話を発表しました。

フツーの人々 <1179>



今週のフツーの人々 (その342)

ちっと手を見て、から

はたらけど　はたらけど
猫(なお)わが生活(くらし)　楽にならざり　ぢっと手を見る

いのちなき砂のかなしさよ　さらさらと握れば指のあひだより　落つ

石川啄木の「一握の砂」、買って読んだことのない歌集ですが、この2つの歌にちょっと胸が絞めつけられるようです。

3年前の参院選で日本共産党は8議席から7議席に後退したものの、全国の1人区で野党共闘が進み10選挙区で自民党に競り勝ちました。ところが今回、日本共産党は6議席が4議席となり、野党共闘は長野や沖縄は良かったですが、狭まりました。肩を落してちっと手を見ているような状況です。だけどいつまでも下を向いているわけにもいきません。ぢっと手を見たあとは、大きく手をはたいて立ち上がるしかありません。

ひめだ高宏

消費税導入の本来の目的は、

6月28日の日刊赤旗の「経済アングル」に消費税について「社会保障財源という欺瞞」と題した記事が載りましたので紹介します。

消費税が法人税や所得税などの減税の穴埋めに使われてきたとして、物価高対策で減税を求める国民世論に対し、自民・公明両党は「消費税は社会保障財源だ」と反論します。消費税法には、消費税収が社会保障にあてられるとあります。しかし、この規定は2012年に消費税を10%へ引き上げる法律を決めたときに増税の言い訳として持ち込まれたものです。

1986年に経団連が政府に出した税制提言は、所得税と法人税を引き下げ、その財源として「国民が広く薄く負担する税体系の構築」を求めるものでした。提言を受けた自民党は、88年6月14日に発表した税制改革大綱に「直間比率の是正を含め、所得・消費・資産等の間で均衡のとれた税体系の確立」と明記。88年7月には、当時の竹下内閣が消費税法案を国会提出し'89年4月に消費税が導入されたのです。消費税は導入のときから所得税・法人減税が目的だったのです。

1989年の消費税創設以来の34年間で、国と地方を合わせた消費税総額は、476兆円。一方、国と地方を合わせた法人税は324兆円、所得税・住民税も289兆円の税収が減っています。消費税収が法人税や所得税・住民税の穴埋めに使われたのは明白です。

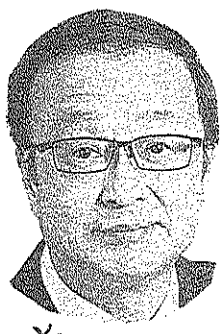
「社会保障目的財源」としながら、なぜ所得税・法人税減税の穴埋めに使えるのか。2019年度の社会保障の公費負担は52兆円。27.5兆円の消費税収すべてを注ぎ込んでも足りません。社会保障の財源には消費税だけでなく、法人税や所得税も入っているのです。消費税率を引き上げて消費税収が増えると、それだけ軍事費の増額や所得税・法人税減税など他の使途に回すことができるのです。

こんにちは日本共産党です

参議院選挙結果をうけて

「しんぶん赤旗」読者、後援会員、党員のみなさん。18日間の選挙戦、大変お世話になりありがとうございました。

今回の参議院選挙は、9条改憲、軍拡大合唱で日本の戦争する国づくりをさらに進めてしまうのか、憲法9条を生かして平和な日本を続けていけるのかを問う大変大事な選挙であること、また「冷たく弱い経済」から「やさしく強い経済」への大転換を訴えぬきました。演説を聞いたかたから「9条を守ってほしい、年金を削らないでほしい」、「絶対に戦争だけはしてはいけません。平和を訴えぬいてほしい」などの声を寄せていただきました。次に向けて新たなスタートを切ります。



前 ひさし
(参院選挙区で奮闘)

2022 平和の戦争展のための わかやま

パネル展示
7月23日(土) 10~17時
24日(日) 10~13時
プラザホープ2F ギャラリー

記念講演会
7月23日(土) 13時~
講師 中井雅人 弁護士
「日本の入管問題」
プラザホープ2F 多目的室(30名)
オンライン視聴できます。

◎講演会は、会場参加、オンライン視聴ともに事前申し込みが必要です。
申し込みは、和歌山県平和委員会 073-488-3095 または、090-1142-7774(里崎)

映画「海辺の彼女たち」上映会

日本の片隅で不法に働くベトナム人女性たちの物語。

7月18日(祝)
10:00~
13:30~ の2回上映
あいあいセンター6階
上映協力費は1000円、当日1,200円
申しこみは右記平和委員会まで